

極短期利用イタリアンライグラス

極早生品種 「シワスアオバ」

年内出穂 する 暖地向き品種

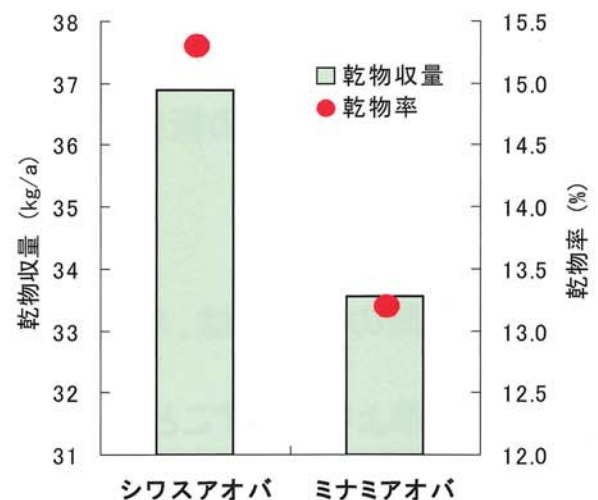
★主な特長

- 出穂が極めて早く、9月中旬から10月上旬に播種すれば、12月（師走）までに出穂する国内唯一の超極早生品種です。
- 年内草が安定して出穂期に達することで、年内草の乾物率が高く、乾物収量が多収です。
- 収穫後の再生力が弱く、残根量も極めて少ないため、後作に与える影響が最も小さい品種です。



栽培適地

中四国、九州の低標高地の
水田及び畑



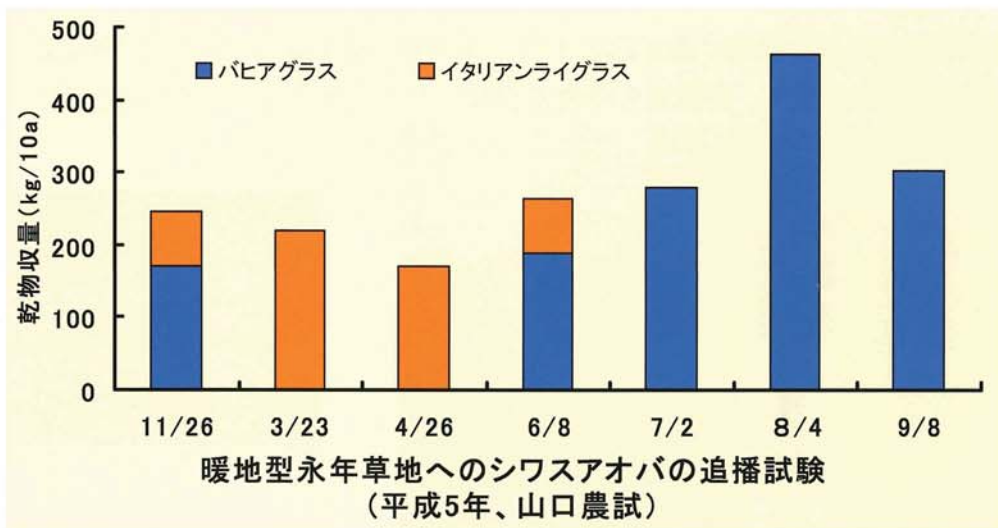
年内草の乾物収量と乾物率
(系適場所3カ年平均)

★特長を生かした栽培利用法

- 中国、四国、九州の低標高地に適します。
- 再生力が劣ることから、早播による年内草の1回収穫体系が有利です。
- 年内に収穫を終えることで、極早期水稻や2期作トウモロコシと組み合わせることができます。
- 春の衰退が早く夏作物との競合が小さいため、暖地型永年生草地等への追播利用に適します。

	9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月			4月			5月	
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中
早播栽培	○~~~~○			—————									x~~~x					x							
	年内草												春1番草													

○播種、×刈取



★栽培上の留意点

- 苗立枯症及びいもち病の抵抗性は強くないので、9月上旬以前の早播きは避けて下さい。
- 10月中旬以降の播種では、年内出穂しないので特性を発揮できません。
- 播種量を標準より増やすことで、年内草収量が高まります。

【育成機関】 問い合わせ先:

山口県農林総合技術センター 放牧環境研究室 飼料・環境グループ
〒753-0214 山口県山口市大内御堀1419
TEL:083-927-0211 FAX:083-927-0214